

2023年4月19日(水)第三水曜祈祷会

創世記30章1～24節

『願いを聞かれる主』

■創世記29章15～35節 『愛していたので』 *ヤコブは、今度は自分がだまされることになった。

- ①ヤコブは妹ラケルを愛していたので、叔父ラバンの家で7年間仕えたと約束した。
- ②時が満ち、祝宴が行われた夜、ラバンは姉レアをヤコブのところに連れて行った。
- ③主はレアが夫ヤコブに嫌われているのを見て、彼女に4人の子どもを授けられた。

■創世記30章1～24節 『願いを聞かれる主』

1. ラケルの戦い(30章1～8節) *ラケルは姉レアに対して優越感を持っていた。

- ①姉レアに嫉妬し、夫ヤコブに不満をぶつけるラケルはどんな思いでしたか。
→
- ②ラケルが女奴隷ビルハをヤコブに妻として与えたのはどういうことですか。
→
- ③ビルハに二人の子どもが与えられて、ラケルはどう思いましたか。
→

2. レアの執念(30章9～21節) *「恋なすび」を食べると妊娠しやすくなると考えられていた。

- ①レアは妹ラケルに対抗してどんな手段を取りましたか。
→
- ②ラケルは「恋なすび」と引き替えに、何を約束しましたか。
→
- ③神はレアの願いを聞かれ、どうしましたか。
→

3. ラケルの祈り(30章22～24節) *レアが6人の母となり、ラケルは失望を覚えていた。

- ①「神はラケルに心を留められた」は何を意味していますか。
→
- ②ラケルは身ごもって男の子を産んだ時、どう思いましたか。
→
- ③息子ヨセフが与えられたラケルの祈りにはどんな変化がありますか。
→

【適用と分かち合い】

- ①姉レアと妹ラケルの争いを神はどのように見ておられましたか。
- ②神は結局、二人の姉妹をどのように取り扱われましたか。
- ③神は私たちの願いをどのように聞いてくださいますか。